

竜宮伝説をひもとく

指宿と佐多は、民話と伝承が豊富で、中でもリップバンウインクルに似た日本の民間伝承の主人公、浦島太郎の生まれた地であると言われる佐多岬の龍宮神社が有名です。

ある伝承によると、ある日、浦島太郎は困っているカメに出会いました。彼はカメを気の毒に思っ助けてあげましたが、そのカメが乙姫という海の姫であることを知り驚きました。彼の助けに感謝して、乙姫は浦島太郎を波の下の海龍の宮殿、竜宮城に招待しました。浦島太郎は招待を受けましたが、年老いた母親を長くは一人にできないので、3日後には返してくれるよう頼みました。3日間のごちそうとお祝いした後、彼が帰る準備をしている間、乙姫は彼に別れの贈り物として、彼を守ってくれる玉手箱を与えました。太郎はこの箱を決して開けてはいけないと言われました。陸に戻ったとき、太郎は彼がいなかった間に数十年が過ぎ、彼が知っていた人は皆亡くなっていたことを知りました。取り乱して、彼は玉手箱を開けてしまいましたが、箱には彼が失ったすべての時間が入っていて、太郎は300歳の老人に変わってしまいました。

指宿周辺には、浦島太郎が亀を救い姫に恋をする場面や龍神などの、この伝説に関連した絵や像があります。